

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

(2) イ	経常経費の削減 印刷費、物品購入費	<取組所管> ・取組①～③：局・室
----------	----------------------	----------------------

□ 3年間の取組と成果の総括

<ul style="list-style-type: none"> ・広報印刷物をはじめとする各所属の広報事務全件について、P D C Aサイクルの徹底を指導し、その効率的・効果的な推進に取り組んだ結果、目標を上回る広報関係予算の削減を行うことができた。 ・全庁的に共通して大量に使用する物品について、継続して業者直送による統括用品として安価で安定した供給を行ったことにより、統括用品化以前との比較で年間 5,400 万円の削減を図るとともに、各所属の契約事務の軽減にも貢献することができた。 ・定期刊行物の購入の必要性、成果等について定期的に検証・公表することにより、目標を上回る定期刊行物購入費の削減を行うことができた。
--

□ 3年間の取組状況

<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年 4 月に「広報事務の推進に関する要綱」を制定し、同要綱にもとづいて、広報印刷物をはじめとする各所属の広報事務全件について、計画（予算編成）及び実施時に点検・精査を行うなど、P D C Aサイクルの徹底を指導し、その効率的・効果的な推進に取り組んだ。（取組①） ・コピー用紙、ファイル類等の全庁的に共通して大量に使用する物品について、継続して統括用品として市販品を集中購買し、必要部署へ直送することで、安価で安定した供給及び各所属の契約事務の軽減に寄与することができた。また、統括用品に係る事務を適切に実行するため、統括用品事務マニュアルを作成し、各所属において適切かつ円滑に統括用品の活用が図れるよう努めた。（取組②） ・各所属における定期刊行物の購入の必要性に関する検証・公表について、指導・調整を行い、各所属での検証結果をとりまとめた結果、平成 24 年度に目標を達成した。（取組③）

【取組の実施状況】取組①：A、取組②：A、取組③：A

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
<取組①の成果目標> 広報印刷物を含む広報関係予算を平成 23 年度と比較し、平成 25 年度までの 2 年間で 5割以上削減	広報印刷物を含む広報関係予算を平成 23 年度と比較し、平成 25 年度までの 2 年間で 67.5%削減 (参考) 平成 23 年度と比較し、平成 26 年度までの 3 年間で 76.7%削減	①
<取組②の成果目標> 物品購入費 P P C用紙、ファイル類 統括用品化以前との比較で導入時 約 5,000 万円規模の効果	物品購入費 P P C用紙、ファイル類 統括用品化以前との比較で平成 26 年度 5,400 万円の効果	①
<取組③の成果目標> 定期刊行物購入費 平成 24 年度 1 億 1,700 万円削減	定期刊行物購入費 平成 24 年度 1 億 2,100 万円削減 (参考) 平成 26 年度 1 億 1,500 万円削減	①

□ 課題と今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・各所属の広報事務全件について P D C Aサイクルの徹底を指導し、その効率的・効果的な推進に引き続き取り組む。（取組①） ・統括用品については、現在の品目で安定し運用しているが、今後も全庁的な物品の需要を把握し、経済的集約効果が見込めるものは導入するなど、適正かつ効率的な運用に努める。（取組②） ・定期刊行物については、引き続き購入の必要性、成果等について定期的に検証・公表することにより、さらなる経費の削減を図る。（取組③）
--

※「実績」欄の平成 26 年度決算額は見込額。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった